

受験番号:29IPCN008

問 1.

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

検出対象を感応するのに用いられ、かつ検出結果に基づいて制御信号を出力する感応モジュール、および

前記感応モジュールが出力する制御信号に基づいて、異なる出力端子を通して少なくとも二つの照明信号の送信をそれぞれ制御するために用いられる制御モジュールを含む照明システムであって、

前記照明信号の送信は、必ず以下の規則に従うことを特徴とする照明システム：

前記感応モジュールが制御信号を出力する場合は、同時に少なくとも二つの前記照明信号を送信し、さらに

前記感応モジュールが制御信号をまだ出力していない場合は、前記照明信号には少なくとも一つの前記制御モジュールによりまだ出力されていない信号が含まれ、且つ、出力される複数の前記照明信号の配列が、前回、前記感応モジュールが制御信号をまだ出力していない場合に出力した複数の前記照明信号の配列と異なる。

【請求項 2】

前記制御モジュールは、

マイクロプログラム制御装置であって、その入力端子を通じて前記感応モジュールが出力する制御信号を受信し、その出力端子を通じて前記照明信号を出力するために用いられるマイクロプログラム制御装置、及び

前記マイクロプログラム制御装置が、前記感応モジュールが出力する制御信号に基づいて前記照明信号を制御するプログラムを保存するために用いられるメモリー

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の照明システム。

問 2.

【背景技術】

排ガス規制法の強化に伴い、排ガスに対する要件を満足すべく、ますます多くの V 型エンジンが自発式オイルガス分離器を採用している。自発式オイルガス分離器を採用した V 型エンジンに関しては、コンパクトな配置を実現するため、オイルガス分離器を V 型夾角内に配置することが非常に好ましい選択肢の一つである。しかし、従来の自発式オイルガス分離器の台座は、基本的に全て側面固定の方式を採用している。ボルトによりエンジン機体の側面に固定し、しかもオイルパイプが駆動油に外部接続する方式によってオイルガス分離器駆動装置に接続している。この構造のオイルガス分離器の組立ては、エンジンの

外側への配置に比較的適しており、V型エンジン内部への配置には適していない。さらに、オイルガス分離器の駆動油は全て一本のオイルパイプに接続され、コストが比較的高く、しかも美観に影響を与え、油漏れの故障の危険も高い。

問3.

**【発明を実施するための形態】**

図1は本発明のフレキシブルプリント配線板 (flexible printed circuit board (FPC)) 化学ニッケルメッキ堆積方法のフローチャートである。本発明の目的、課題を解決するための手段、および発明の効果を更に明瞭、明確にするため、以下、図面を参照し、実施例を挙げて本発明を更に詳しく説明する。図1を参照して、図1は本発明のFPC化学ニッケルメッキ堆積方法のフローチャートである。図に示すように、前記FPC化学ニッケルメッキ堆積方法は以下の工程を含む。S1：FPCをニッケルメッキ槽および金メッキ槽に浸漬し、FPCに対して1回目のニッケルメッキ堆積処理を行う；S2：FPCを取り出し、ドライフィルムを用いて非メッキ堆積領域もしくは金層の厚さが既に要求を満足しているランドを被覆する；S3：ドライフィルムで被覆したFPCに対して現像処理を行う；S4：処理後のFPCを再び金メッキ槽に浸漬し、2回目の堆積処理を行い、かつ、必要とされるメッキ堆積厚に基づいてメッキ堆積時間を調整する。